

## 2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	大学院言語コミュニケーション文化研究科・教授
	氏名	于康
海外客員 教員	所属・職	上海財経大学・副教授
	氏名	呂雷寧
招聘目的	1. 授業担当及び研究 2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2023年4月1日～2023年7月31日)	
成果報告 以下の内容を日本語で記載して下さい。	<p>1. 授業担当及び研究</p> <p>(1) 授業科目名 担当の授業は、日本語教育トピックスと日本語、中国語の翻訳研究（いずれも大学院の授業）。</p> <p>(2) 授業担当の成果 日本語教育トピックスという授業を通して、受講者は、中国での日本語教育と日本での日本語教育の違いを理解し、日本語教育に何が必要なのかを理解することができたと言えるであろう。日本語、中国語の翻訳研究という授業を通して、受講者は、対照言語学・類型論の視点から、実例を通して、翻訳作業と翻訳研究との関係、翻訳の理論と翻訳のテクニックについて学び、翻訳とは何かを考えることができることができたと言えるであろう。受講者からは、新しい視点の講義だったので、非常に収穫があったとの評価をいただいている。</p> <p>2. 共同研究</p> <p>(1) 共同研究の内容 研究の内容は、日本語の動詞の誤用研究であった。</p> <p>(2) 共同研究の成果 その成果は、次のようになる。</p> <p>『日本語の動詞の誤用研究』の執筆に加わり、「2.16应该使用「変わる」, 还是「变化する」?」「2.32应该使用「加わる」, 还是「加える」?」「3.5应该使用「支配する」, 还是「管理する」?」「3.4应该使用「執行する」, 还是「実行する」?」を執筆した。2023年8月5日～6日に北京理工大学で開催された「2023年日本語の誤与及び第二言語習得研究国際シンポジウム」で、「「執行する」と「実行する」の使い分けについて」と題して口頭発表した。</p> <p>3. 特別枠</p> <p>(1) 活動内容</p> <p>(2) 成果</p>	

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

\*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます